

浜松啓陽高等学校  
生徒・保護者 各位

浜松啓陽高等学校

臨時休校及び期間中の授業等について（お知らせ）

新型コロナウイルスの感染症対策のため、「啓陽高校の感染症対策」として、2、3年生には3月23日（月）の登校日、1年生には4月2日（木）の新入生オリエンテーション時にお知らせしておりましたが、当該感染拡大を受け、下記により、臨時休校とします。

記

- 1 期間 令和2年4月7日（火）～ 5月8日（金） ※1年生は4月9日（木）から
- 2 方法 ※①学習機会の保証、②「密閉・密集・密接」の排除、③学習の継続
  - (1) 登校 ・遠鉄バス、スクールバスが使える学校で決めた日時に、週1～2回、学年ごとに分散登校する。(②)
  - (2) 授業 ・本校作成の学習教材（全教科）を用いて自宅学習し、提出して添削指導を受ける。(①・②・③)

本校は前身校からの長い歴史の中で積み重ねた「通信制高校」のノウハウを持っているので、それを活かした授業をすることができます。また、ネット環境の下で、普通教科をはじめ、専門教科の「簿記」や「情報処理(一部)」を含むオンライン授業ができる学習システム(リクルート社のスタディサプリ)を整えており、その活用ができます。

- ・クラスを二または三分して少人数授業とする。(②)
  - (3) 評価 ・学習教材の提出状況、内容、確認テスト等による。
  - (4) 部活動 ・参加人数により、感染防止の徹底を条件に部活動あり。
  - (5) その他 ・『健康管理カード』によるチェックを受け、許可された生徒のみ在校できる。  
・直接、学習教材を渡せ（提出でき）ない場合は、郵送による。(③)
- 3 臨時休校とした主な理由
    - (1) 感染拡大が進む中、「密閉・密室・密集」を排除するには限界があり、遠鉄バス、スクールバスにおいても満員に近い人数となる。また、教室内の人との距離を取るにも限界があるため、1教室20人以下の人数で一人置きに間を置いて着席し、「密集」を避ける。  
食堂についても同じ。
    - (2) 『健康管理カード』による健康判断は、生徒の自己判断によるものであり、学校でできるチェックにも限界がある。
    - (3) 今後、東京、大阪、兵庫、愛知のように感染者が確実に増えていくことが予想され、「臨時休校」の延長を余儀なくされる前に、本校版の「学習教材(添削指導)と少人数指導」を用いた自宅学習を習慣づける。
    - (4) 万一、生徒又は教職員に感染や濃厚接触が確認された場合でも、感染源の特定や他への影響等が想定しやすいと思われ、学校で指導する「学習」の継続が可能となる。
    - (5) 就職環境の変化に備え、万全の校内態勢で3年生の進路指導に当たる。
  - 4 次回登校日 ※詳しい時程等は、10日（金）までに「きずなネット」、ホームページでお知らせします。  
1年生：4月15日（水）      2年生：同14日（火）      3年生：同13日（月）
  - 5 臨時休校による定期券等の取扱い
    - (1) JR・遠鉄バス定期利用者  
登校日数が少なくなるため、ナイス・パスを用いた方が安価になる場合がある。  
購入済みの定期券を払い戻す場合、それにより失った価額の一部を学校が補助する。
    - (2) 浜啓スクールバス利用者  
利用日数が減少したことにより運営費を見直し、会費(料金)の一部を返金する。
  - 6 今後の見込み  
5月11日（月）の学校再開を目指す。様々な状況を想定しながら、生徒の健康と学力保証を最優先に対応する。なお、本対応は令和2年4月6日（月）時点のもの。